

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレミスト天神赤坂タワー	階数	地上24F
建設地	福岡県福岡市中央区大名2丁目24番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	7地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2016年1月14日
敷地面積	3,135.91 m ²	作成者	松浦 哲
建築面積	1,828.22 m ²	確認日	XXX
延床面積	28,323.63 m ²	確認者	XXX

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能
Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合 伝統ある大銀杏を保存し外周に積極的な緑化を図る。また住宅性能等級4を取得し、室内外ともに省エネルギー対策を施した設計としている。 災害対策として、マンホールトイレ等を設置し、蓄電池など停電も含めた災害に強い計画としている。	その他 照明器具は基本的にLEDとしている。
Q1 室内環境 シックハウス対策として、全面的にF☆☆☆☆、規制対象外の建材を使用する計画としている。住戸内水廻りについては二重床とし、将来の更新対策に配慮している。	Q2 サービス性能 制振装置を導入し、安全性に配慮している。また、敷地・建物内には段差の少ない計画とし、高齢者、身障者の方にも安全に利用できるように配慮した。
LR1 エネルギー 住戸内にHEMS機器を設置し、電力の見える化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別を積極的に採用している。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地内を積極的に緑化し、風環境についても配慮している。	
LR3 敷地外環境 適切な量の駐車台数を確保し、ビル風対策として、風環境シミュレーションによる周辺環境への影響を検討した。また、明治通りの景観の連続性を配慮し基壇を構成。街と一体となるよう外構、ファサードの検討を行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される